

2022年度
九州大学大学院総合理工学府
博士後期課程

学生募集要項

社会人特別選抜
2022年10月入学者選抜

2022年3月

九州大学大学院総合理工学府

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で、出願時において、企業、官公庁等に在職し、入学後も引き続きその身分を有する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び2022年9月30日までに取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年9月30日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年9月30日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年9月30日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下「国際連合大学」という。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2022年9月30日までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者及び2022年9月30日までに認められる見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
 - ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学府において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学府において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (8) 本学府において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で2022年9月30日までに24歳に達する者

※上記(7)又は(8)による出願をする者は、出願に先立ち6に記載する出願資格審査を受けなければなりません。

2. 募集専攻及び募集人員

専攻：総合理工学専攻

募集人員：若干名

3. 出願手続

志願者は、次の必要書類を市販の封筒（大きさ：角形2号240mm×332mm）に封入の上、封筒表面左部に「総合理工学府 博士（社会人）願書在中」と朱書きして提出してください。出願に当たっては、「出願書類の提出確認票」（所定様式）を必ず添付してください。

【注意】

出願（出願資格の事前審査を申請する場合を含む。）に当たっては、出願前に、研究指導を受けることを希望する教員（又は専攻）に連絡を取り、出願についての相談をしてください。また、連絡を取った教員名を出願書類中の記入欄に記入の上、出願してください。

0	出願書類提出の確認票	必要事項を記入し、出願書類の一番上に添付してください。
1 ※	願書 (様式1)	本学府所定の様式に、必要事項を漏れなく記入し、写真を貼ってください。 (出願資格(7)又は(8)の者は事前提出の関係上、学歴・職歴については記入不要)
2 ※	受験票 (様式2)	本学府所定の様式に、必要事項を漏れなく記入してください。
3 ※	推薦書 (様式7)	所属長又は指導的立場にある者が作成したものとするが、推薦書を提出するか否かは志願者の任意とします。 (提出する場合は本学府所定様式を使用してください。) (出願資格(7)又は(8)の者で、推薦書を提出した者については、提出されたものを使用します。)
4 ※	研究計画書 (様式3)	本学府所定の様式に、在学中に行う専攻分野に関連する研究計画を記入してください。
5 ※	研究業績概要調書 (様式4)	本学府所定の様式に、在職中に行った専攻分野に関連する研究業績を記入してください。
6	修士学位論文(写)	(出願資格(7)又は(8)の者は不要)
7	修士成績証明書	最終出身大学院が発行したもの (出願資格(7)又は(8)の者は不要)
8	修了証明書	最終出身大学院が発行したもの (出願資格(7)又は(8)の者は不要)
9 ※	受験票返送用封筒	市販の封筒(大きさ:長形3号120mm×235mm)に郵便番号・住所・氏名を記入し、354円分(速達料金を含む)の切手を貼ってください。
10 ※	入学検定料支払いに関する書類	入学検定料:30,000円 欄外に記載の「入学検定料の支払い方法について」を参照の上、入学検定料を納付し、次の(a)又は(b)のいずれかの書類を提出すること。 (a)コンビニエンスストアで支払う場合 『入学検定料・選考料・取扱明細書』貼付用台紙(様式5)』 (b)クレジットカードで支払う場合 『申込内容照会結果画面』をプリントアウトしたもの(A4サイズ)

※ 本学府修士課程を修了した者は、上記書類のうち、1、2、3、4、5、9、10を提出してください。(6、7、8の書類は不要です。)

○入学検定料の支払い方法について

入学検定料は、e-支払いサイト (<https://e-shiharai.net/>) へ事前申込の上、(a)コンビニエンスストア、又は(b)クレジットカードにより支払うこと。(海外からの支払いの場合は、(b)のみ。) 支払方法の詳細は、本要項8頁の「九州大学コンビニエンスストア・クレジットカード・中国決済での入学検定料払込方法」を参照すること。なお、支払いに関する手数料は、志願者が負担することとなる。

【支払い期間】

2022年4月25日(月)～2022年5月17日(火)

【入学検定料支払いに関する提出書類】

(a) コンビニエンスストアで支払う場合

「入学検定料・選考料・取扱明細書」を「『入学検定料・選考料・取扱明細書』貼付用台紙(様式5)」に貼付し、出願書類と共に提出すること。

(b) クレジットカードで支払う場合

「『申込内容照会結果画面』をプリントアウトしたもの」(A4サイズ)を出願書類と共に提出すること。

(注意)

e-支払いサイトにおける手順等に関するご質問については、同サイト上の「FAQ」又は「よくある質問」(<https://e-shiharai.net/Syuno/FAQ.html>)を参照した上で、イーサービスサポートセンターへ問い合わせること。

○九州大学大学院の学府の修士課程を修了し、引き続き本学府の博士後期課程へ進学する場合等の検定料及び入学料の取扱いについて

次の各号のいずれかに該当する者については、検定料及び入学料は必要ありません。

1. 九州大学大学院の学府の修士課程を2022年9月に修了し、引き続き本学府の博士後期課程へ進学しようとする者
2. 九州大学大学院の学府(一貫制博士課程)の2年次を2022年9月に修了し、修士の学位を授与された後、引き続き本学府の博士後期課程へ入学しようとする者
3. 九州大学大学院の学府の専門職学位課程を2022年9月に修了し、引き続き本学府の博士後期課程へ入学しようとする者

4. 願書受付期間

2022年5月9日(月)から5月17日(火)17時まで。

なお、郵送の場合は、書留郵便とし、受付期間に必着するように発送してください。

5. 提出先

〒816-8580 福岡県春日市春日公園6丁目1番地

九州大学筑紫地区事務部教務課教務係

電話 (092) 583-7512

メールアドレス srkkyomu@jimu.kyushu-u.ac.jp

6. 出願資格審査

1の出願資格(7)又は(8)による出願をする者には、出願に先立ち、資格審査を行いますので、次の書類を5の提出先へ提出してください。

なお、郵送の場合は、必ず書留郵便として、封筒表面に「博士(社会人)出願資格審査」と朱書きしてください。

(1) 提出書類

1	出願資格認定申請書 (様式6)	本学府所定の様式に、必要事項を漏れなく記入してください。
2	推薦書(様式7)	本学府所定の様式により、所属長又は指導的立場にある者が作成したもので推薦書を提出するか否かは志願者の任意とします。
3	研究従事内容証明書 (様式8)	本学府所定の様式により、所属長又は指導的立場にある者が作成したもの
4	出願資格審査用履歴書 (様式9)	本学府所定の様式に必要事項を漏れなく記入してください。

5	資格免許証等（写）	専攻分野に関連する参考となる書類の写しで、簡易な説明を付したのもの
6	卒業証明書	最終出身大学が発行したもの
7	学部成績証明書	最終出身大学が発行したもの

(2) 提出期間

募集要項発表の日から2022年4月15日（金）17時までの期間

(3) 審査結果

審査の結果については、2022年4月28日（木）17時までに、申請者あてに通知しますので、資格があると認定された者は、4の出願手続きを行ってください。

7. 選抜の方法、試験期日及び試験場

- (1) 入学者の選抜は、出願書類の内容及び学力検査の成績を総合して行います。
- (2) 学力検査は、次の日程で行います。

試験日	試験科目	試験場
2022年6月9日（木）～ 2022年6月17日（金）の間の いずれか1日 （詳細は、後日連絡します。）	専門科目及び修士学位論文等について、筆記試験又は口頭試験を行う。	九州大学大学院 総合理工学府 （筑紫地区）

8. 合格者発表

2022年7月7日（木）12時、筑紫地区事務部広報掲示板（共通管理棟玄関横）に掲示するとともに、合格者には文書により通知します。

9. 入学の時期

2022年10月1日

10. 入学手続

- (1) 手続期間：2022年9月1日（木）～9月9日（金）（予定）
- (2) 入学手続の際に納付する経費等

入学金：282,000円（予定）

※ 進学する場合等の入学金の取扱いについては、前に掲載の「九州大学大学院の学府の修士課程を修了し、引き続き本学府の博士後期課程へ進学する場合等の検定料及び入学金の取扱いについて」を参照してください。

授業料：（前期分）267,900円（年額 535,800円）（予定）

※ 上記の納付金額（入学金及び授業料）は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

11. 注意事項

- (1) 願書受理後は、記載事項の変更、検定料の払い戻しなどには一切応じません。
- (2) 受験票未受領者又は紛失した者は、試験開始前までに筑紫地区事務部教務課教務係（筑紫地区共通管理棟）で再発行を受けてください。
- (3) 試験場への交通機関
 - ・ JR九州鹿児島本線大野城駅下車 徒歩約5分
 - ・ 西鉄大牟田線白木原駅下車 徒歩約15分
- (4) 障害等のある入学志願者について

本学では、障害等のある者に対して、受験上及び修学に必要な配慮を行う場合があります、そのための相談を随時受け付けています。受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することもあ

りますので、出願前できるだけ早い時期に5の提出先へ相談してください。

(5) その他出願に際して、疑問、不明な点があれば、5の提出先へ問い合わせてください。

1 2. 出願書類における個人情報の保護について

(1) 出願書類に記載の個人情報は、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

① 合格者の住所・氏名等を入学手続業務で利用します。

② 入学者選抜で利用した成績等の個人情報は、個人が特定できないかたちで本学府における入学者選抜に関する調査研究で利用します。

(2) 出願書類に記載の個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

(3) 個人情報の取扱いについては、あらかじめ以下のWebページを確認してください。

<http://www.kyushu-u.ac.jp/en/website/privacypolicy>

九州大学大学院総合理工学府概要

九州大学大学院総合理工学府では、「未来を見据えた物質・エネルギー・環境を融合した学問体系の構築とそれを身につけた人材の育成」を教育研究の目標としています。

昨今、情報化、グローバル化、少子高齢化、地球環境や経済活動の持続可能性などの社会問題の深刻化が進み、我々人類が未経験の課題が出現しています。こうしたパラダイムシフトに伴い、理工学分野の研究者・技術者に求められる役割も大きく変貌しています。総合理工学府は激変するこの社会環境に対応するため、大学院組織改革を断行し、情報科学を駆使しながら環境・エネルギー関連問題の解決を先導できる理工学系の研究・技術人材の育成に取り組みます。

総合理工学府総合理工学専攻は1学府1専攻体制です。博士後期課程入試は、I類（物質系：材料、化学）、II類（エネルギー系：電気電子、デバイス、量子理工）、III類（環境系：機械、システム、地球環境）の三つの入試科目区分で実施します。入学後は、専門力を高めるとともに情報応用力、異分野展開力を強化するカリキュラムが準備されています。大学院博士課程修了時には、六つの専門領域（材料理工学メジャー、化学・物質理工学メジャー、デバイス理工学メジャー、プラズマ・量子理工学メジャー、機械・システム理工学メジャー、地球環境理工学メジャー）のうちいずれか一つを身につけると共に、講義・演習で学んだ異分野の理工学系および応用情報系の知識や技能を併せ持つ研究人材、高度専門技術人材を育成します。

なお、詳細については、総合理工学府ホームページ <<http://www.tj.kyushu-u.ac.jp/>> を参照してください。

Interdisciplinary Graduate School of Engineering Sciences, Kyushu University

Serious environmental problems have emerged in recent years. Many of these problems are man-made and have a global impact, which is threatening the quality of life. We are challenged to contribute solutions to these problems by developing innovative approaches in the field of science and technology. For a sustainable society, promoting environmentally benign technology is necessary.

The Interdisciplinary Graduate School of Engineering Sciences is an academic organization that offers graduate programs exclusively. This graduate school comprises one department: The Department of Interdisciplinary Engineering Sciences. The entrance examination for the PhD program is conducted at three areas: category I (material science), category II (energy systems), and category III (environmental science and engineering). Our graduate school aims to nurture the engineers and researchers who would like to play an active role in the establishment of a global society with sustainable growth through advanced specialist knowledge on symbiotic technology and the ability to explore and resolve issues regarding materials, energy, and the environment as well as their integrated fields. The curriculum of the department is designed to provide education at several levels, with some joint lecture courses, interdisciplinary lectures, and more integrated cross lectures in different research areas for all students. It is our special mission to provide students with necessary know-how for them to become engineers and researchers of high potential and be well-versed in issues and solutions pertaining to environmentally benign technology.

For detail, please access the following site: <<http://www.tj.kyushu-u.ac.jp/>>.

アドミッションポリシー

広く全国の大学や外国の大学出身者及び職業経験者で、物質、エネルギー、環境をキーワードにした環境共生型科学技術に強い興味と問題意識を持ち、十分な学力と勉学意欲を備えた学生を求めています。

Admissions policy

The IGSES is intended for students from Japanese and foreign universities, and for persons who already have an occupational experience. Strong interest and awareness of harmony with the environment are required in the field of science and technology focused on materials, energy, and the environment. The ideal candidate should also possess a strong determination for studies and adequate academic skills.

総合理工学専攻の系と研究室(教育分野)一覧

※ 以下の表では、研究室の研究分野を分かりやすくするために、「系」というカテゴリーを導入しています。

研究室番号は、出願書類作成の際、希望研究室名とともに記入するためのものです。

I 類に属する研究室 / Laboratories belonging to Category I

系 Section	研究室 (教育分野) 【教員】 Laboratory 【Academic Staff】	研究室番号 Lab-Number
電子・化学機能 Electronic and Chemical Properties	機能材料物性学【島ノ江・渡邊(賢)】 Theory of Functional Materials 【Shimanoe・Watanabe】	I-1
	熱・電子機能物性理工学【大瀧・末國】 Chemistry and Physics of Functional Materials 【Ohtaki・Suekuni】	I-2
	機能無機材料工学【永長・北條】 Functional Inorganic Materials Chemistry 【Einaga・Hojo】	I-3
	構造セラミックス材料学【張】 Structural Ceramics Materials Engineering 【Jang】	I-4
	無機ナノ構造解析学【稲田】 Design and Analysis of Ceramic Nanostructures 【Inada】	I-5
	新素材開発工学【徐・山田・上原】 Development of Advanced Materials 【Xu・Yamada・Uehara】	I-6
バルク機能 Bulk Properties	構造材料物性学【中島・光原】 Structural Materials Science 【Nakashima・Mitsuhara】	I-7
	結晶物性工学【板倉】 Crystal Physics and Engineering 【Itakura】	I-8
	量子材料物性学【波多】 Electron Microscopy for Materials 【Hata】	I-9
	極限材料工学【橋爪】 Materials Science and Engineering under Extreme Conditions 【Hashizume】	I-10
	材料構造制御学【飯久保】 Materials Structure Design 【Ikubo】	I-11
	プロセス設計工学【寒川】 Process Design Engineering 【Kangawa】	I-12
	高エネルギー極限物性学【渡邊(英)】 Extreme State Science for Nuclear Materials 【Watanabe】	I-13
プラズマ材料学【徳永】 Plasma Materials Science 【Tokunaga】	I-14	
機能物性評価学【大橋・原・坂口(勲)】 Characterization of Material Structure and Properties 【Ohashi・Hara・Sakaguchi】		
表面・界面・材料 デバイス Surface, Interface and Device Properties	表面物質学【中川】 Surface Science 【Nakagawa】	I-16
	計算材料科学【辻】 Computational Materials Science 【Tsuji】	I-17
	先端機能材料【藤野】 Advanced Functional Materials 【Fujino】	I-18

	先進ナノマテリアル科学【吾郷】 Advanced Nanomaterials Science【Ago】	I-19
	KOINEプロジェクト部門【原田（裕）】 KOINE Project Division【Harada】	I-20
	化学反応工学【林（潤）・工藤】 Chemical Reaction Engineering【Hayashi・Kudo】	I-21
	ナノ材料・デバイス科学【斉藤（光）】 Nanomaterial and Nanodevice Science【Saito】	I-22
	ナノマテリアル国際ラボ【柳田・村山・Ho・Yip】 International Laboratory for Nanomaterials 【Yanagita・Murayama・Ho・Yip】	I-23
分子物性科学 Molecular and Materials Science	量子化学【青木・村田】 Quantum Chemistry【Aoki・Murata】	I-24
	分子計測学【原田（明）・藪下】 Molecular Spectroscopy【Harata・Yabushita】	I-25
	分子科学【古屋】 Molecular Science【Furuya】	I-26
有機合成化学 Synthetic Organic Chemistry	分子・反応設計化学【友岡】 Development of Novel Organic Molecules and Reactions 【Tomooka】	I-27
	生命有機化学【新藤・狩野】 Organic Chemistry for Life Science【Shindo・Kano】	I-28
	機能有機化学【國信・森】 Design of Advanced Organic Compounds【Kuninobu・Mori】	I-29
分子材料・プロセス工学 Molecular Materials and Process Engineering	材料電気化学【アルブレヒト】 Materials Science for Electrochemistry【Albrecht】	I-30
	機能分子工学【菊池・奥村】 Molecular Engineering of Functional Materials【Kikuchi・Okumura】	I-31
	高分子材料物性学【横山・高橋（良）】 Advanced Polymer Science and Technology【Yokoyama・Takahashi】	I-32
	高分子機能材料学【スプリング】 Macromolecular Materials and Applications【Spring】	I-33
	素子材料科学【尹・宮脇】 Device Materials Science【Yoon・Miyawaki】	I-34
	機能有機材料化学【藤田】 Functional Organic Materials Chemistry【Fujita】	I-35

*研究室番号に斜線のある研究室は募集をしない。

* We do not accept applications this time for the laboratory number with a diagonal line.

Ⅱ類に属する研究室 / Laboratories belonging to Category Ⅱ

系 Section	研究室(教育分野)【教員】 Laboratory【Academic Staff】	研究室番号 Lab-Number
デバイスシステム Device Systems	電離反応工学【山形・堤井】 Ionized Gas Dynamics【Yamagata・Teii】	Ⅱ-1
	光エレクトロニクス【浜本】 Opto-Electronics【Hamamoto】	Ⅱ-2

	電子物性デバイス工学【吉武】 Electronic Physical Device Engineering【Yoshitake】	II-3
	非線形物性学【坂口(英)・森野】 Nonlinear Physics【Sakaguchi・Morino】	II-4
	機能デバイス工学【王】 Functional Device Engineering【Wang】	II-5
	電子システム工学【服部】 Electronic System Engineering【Hattori】	II-6
	パワーデバイス工学【齋藤(渉)】 Power Device Engineering【Saito】	II-7
	電力変換システム工学【西澤】 Energy Electrical Engineering【Nishizawa】	II-8
応用プラズマ・量子 Plasma Application and Quantum Engineering	プラズマ応用理工学【林(信)】 Plasma Science and Engineering【Hayashi】	II-9
	先進宇宙ロケット工学【山本(直)】 Advanced Space Propulsion Engineering【Yamamoto】	II-10
	粒子線物理工学【渡辺(幸)・金】 Nuclear and Radiation Engineering Physics【Watanabe・Kin】	II-11
	エネルギー化学工学【片山】 Energy Chemical Engineering【Katayama】	II-12
	量子ビーム理工学【榊】 Applied Quantum Beam Engineering【Sakaki】	II-13
核融合プラズマ Fusion Plasma	核融合プラズマ物性制御工学【井戸】 Fusion Plasma Physics and Control Engineering【Ido】	II-14
	核融合システム理工学【花田】 Fusion Plasma Science and Technology【Hanada】	II-15
	先進プラズマ理工学【出射・池添】 Advanced Plasma Science and Engineering【Idei・Ikezoe】	II-16
	プラズマ科学【田中】 Fusion Science【Tanaka】	II-17
基礎プラズマ Fundamentals of Plasma	核融合プラズマ理工学【藤澤・永島】 Plasma and Fusion Physical Science【Fujisawa・Nagashima】	II-18
	非平衡プラズマ理工学【-】 Non-Equilibrium Plasma Science and Engineering【-】	II-19
	プラズマ非線形現象理工学【山田】 Nonlinear Plasma Science【Yamada】	II-20
プラズマ理論・シ ミュレーション Theory and Simulation for Plasma	シミュレーションプラズマ物理学【糟谷】 Plasma Simulation Physics【Kasuya】	II-21
	理論プラズマ物理学【小菅】 Theoretical Plasma Physics【Kosuga】	II-22
	原子・分子・光科学【加藤】 Atomic Molecular Optical Science【Kato】	II-23

*研究室番号に斜線のある研究室は募集をしない。

* We do not accept applications this time for the laboratory number with a diagonal line.

Ⅲ類に属する研究室 / Laboratories belonging to Category Ⅲ

系 Section	研究室（教育分野）【教員】 Laboratory【Academic Staff】	研究室番号 Lab-Number
エネルギー環境学 Energy and Environment	エネルギー流体科学【安養寺】 High-speed Gas Dynamics【Anyoji】	Ⅲ-1
	エネルギー熱物理解科学【渡邊（裕）】 Thermal Science and Energy【Watanabe】	Ⅲ-2
	熱エネルギー変換システム学【宮崎・チョートウ】 Thermal Energy Conservation Systems【Miyazaki・Kyaw Thu】	Ⅲ-3
	エネルギー移動現象学【－】 Heat Transfer Engineering【－】	
	熱機関工学【－】 Engine and Combustion【－】	
	都市環境科学【萩島・池谷】 Urban Environmental Sciences【Hagishima・Ikegaya】	Ⅲ-6
社会空間環境学 Social Space and Environment	複雑系社会環境科学【谷本】 Complex Social and Environmental Systems【Tanimoto】	Ⅲ-7
	建築環境工学【伊藤】 Architectural Environmental Engineering【Ito】	Ⅲ-8
	環境エネルギーシステム学【ファルザネ】 Energy and Environmental Systems【Farzaneh】	Ⅲ-9
	再生可能エネルギー工学 Renewable Energy Engineering	
再生可能エネルギー工学 Renewable Energy Engineering	生体エネルギー工学【東藤】 Bioenergy Engineering【Todo】	Ⅲ-10
	海洋環境エネルギー工学【胡】 Marine Environment and Energy Engineering【Hu】	Ⅲ-11
	風力エネルギー工学【吉田】 Wind Energy Engineering【Yoshida】	Ⅲ-12
	風工学【内田】 Wind Engineering【Uchida】	Ⅲ-13
流体環境学 Fluid Environment	宇宙流体環境学【松清】 Space Environmental Fluid Dynamics【Matsukiyo】	Ⅲ-14
	環境流体システム学【杉原】 Environmental Hydrodynamics【Sugihara】	Ⅲ-15
	水環境工学【エルジャマル】 Water and Environmental Engineering【Eljamal】	Ⅲ-16
大気環境学 Atmospheric Environment	大気物理【岡本・山本（勝）】 Atmospheric Physics【Okamoto・Yamamoto】	Ⅲ-17
	気候変動科学【竹村】 Climate Change Science【Takemura】	Ⅲ-18
	大気環境モデリング【弓本】 Atmospheric Environment Modeling【Yumimoto】	Ⅲ-19
	非線形力学【－】 Nonlinear Dynamics【－】	
海洋環境学 Ocean Environment	海洋環境物理【時長・市川】 Descriptive Marine Physics【Tokinaga・Ichikawa】	Ⅲ-21
	海洋工学【－】 Ocean Engineering【－】	
	海洋循環力学【千手・遠藤】 Ocean Circulation Dynamics【Senjyu・Endoh】	Ⅲ-23

	海洋力学【磯辺・木田】 Ocean Dynamics【Isobe・Kida】	III-24
	海洋モデリング【広瀬】 Ocean Modeling【Hirose】	III-25

*研究室番号に斜線のある研究室は募集をしない。

* We do not accept applications this time for the laboratory number with a diagonal line.

所在地

九州大学大学院総合理工学府は、福岡市の南に位置する筑紫キャンパスにあります。筑紫キャンパスの最寄りの駅はJR大野城駅（JR鹿児島本線）、白木原駅（西鉄大牟田線）です。JR大野城駅から総合理工学府までは徒歩で約5分、白木原駅からは徒歩で約15分です。

また、福岡空港からはタクシーで約30分です。

Location

The Interdisciplinary Graduate School of Engineering Sciences is located at the Chikushi Campus in the southern part of Fukuoka City. The Chikushi Campus can be conveniently reached by railway, using the JR Kagoshima line or Nishitetsu Oomuta line. It takes 5 minutes on foot to reach the Chikushi Campus from JR Onojo railway station (Kagoshima line). And it takes 15 minutes on foot to reach the Chikushi Campus from Shirakibaru station (Nishitetsu Oomuta line).

Fukuoka International Airport can be reached by car in 30 minutes.